




平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【京都市】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 Ⅲ 】 |
| 2 実施対象者 | 京都市立松尾小学校 6年生123名（育成学級1名含む） |
| 3 展開の形式 | （1）学校における活動 ① 教科名（ 道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ） |
| 4 目標 （ねらい） | 障害についての理解と認識を深める。 共に生きていこうとする態度や心情を育てる。 |
| 5 取組内容 | 1 事前に行った授業 （1）車いす体験と介助体験 体験の前に、まず「車いす」から連想することを交流した。日常生活の中で見かけた場面や今までの学習で学んだこと、車いすのスポーツなど、児童の知っていることは多岐にわたっていた。その後、車いすに2人1組で「乗る」と「押す」の両方を体験した。車いす用のゆるい上り坂と下り坂があり、特に下る時に向きをかえる方が、恐怖心がなく安全であることが分かった。また、段差や狭いところは、なかなか困難であることを実感していた。  （2）道徳「スポーツの力」（「生きる力」より） 3大会連続でパラリンピックに出場した佐藤真海さんの姿から、パラリンピックについて興味を持つとともに、「ほこりある生き方」について学級で話し合った。2020年に東京でオリンピックが開催されることは、ほとんどの児童が知っていたが、同時にパラリンピックも開催されることを知っている児童は少なかった。右足が義足の佐藤さんの活躍を通して、パラリンピックに関心を寄せる様子が見られ |

| | |
|---------------------------------|--|
| | <p>た。</p> <p>2当日（1月11日）</p> <p>① 選手・コーチの紹介</p> <p>② 車いすバスケットの紹介</p> <p>③ 車いす体験 8コース 6年生全員が前向き、 回転、後ろ向きに進む操 作を行った。</p> <p>④ 車いすバスケット 2試合 各クラス10人が代 表として前半5人と選 手1名・後半5人と選手 1名で行った。</p> <p>⑤ 選手のお話</p> <p>⑥ 記念撮影</p> <p>後日、コーチと選手へ感想とお礼の手紙を書いた。</p>   |
| <p>6 主な成果</p> | <p>児童の感想より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単そうに見えたけど、いざやってみるとなると、とても難しかったです。 ・ぼくの車いすのイメージはゆっくりでした。でも、車いすバスケットの車いすはスピードも速くてかっこいいと思いました。 ・車いすバスケットの試合に出てみて、とても楽しくこのままずっとやってみたいと思える魅力があったスポーツでした。 ・選手のお話を聞いて、車いすで生活している人の思いや苦勞がとても分かりました。 ・これからは、車いすを使うのは難しいということを頭に入れて、車いすを使う方々に優しく接していきたいと思います。 ・夢はあきらめたらだめですね。そのことを教えてくださってありがとうございました。 ・選手のお話では、生き方に関することを教えてもらったように思いました。この経験をこれからの人生にいかしていきたいです。 ・この授業で一番心に残ったのは、選手のお話です。どんなときでも仲間がいたら、つらいこともがんばれるんだと思いました。 ・選手のお話を聞いて、障害がある人もない人もわけへだてなく、いたわりあっていけば、みんな平等で暮らしていけると思いました。 |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習を取り入れたこと。 ・車いすバスケットのメンバーを男女混合にしたこと。 ・6くみさんも一緒に行ったこと。 |

| | |
|-----------------|---|
| 8主な課題等 | <ul style="list-style-type: none">• 島津アリーナでの車いすの貸出と返却の時間が、午後 1 時～3 時までかつ、教員が立ち会わなければならない。そのため、朝に車いすを借り、夕方に車いすを返却することができない。• 体育館の位置が2階なので、選手控室から体育館までの移動で、階段介助の人数が最低4名は必要。• 試合が全員できるとなお良い。 |
| 9来年度以降 の実施予定 | <ul style="list-style-type: none">• 高学年でぜひ実施したい。 |